

スチュワードシップ諮問会議における評価

スチュワードシップ活動の報告および当社による自己評価につきましては、第三者委員会であるスチュワードシップ諮問会議（2021年8月5日開催）において審議が行われ、かかる審議の結果、議決権行使状況、ESG投資への取組み、「目的を持った対話」にかかる活動等を含む当社の対応状況は、利益相反等の観点から妥当であるとの意見をいただいております。

当社は、今後も引き続き、同諮問会議での意見を踏まえ、ESG課題への取組みとして、

- ・ガバナンス
- ・情報開示
- ・気候変動
- ・人権・ダイバーシティ
- ・健康と安全

といった観点に着目しながら、投資先企業との「目的を持った対話」の一層の充実を通じ、より質の高いスチュワードシップ活動を継続して参ります。